

## 幾何概論 I のレポート課題 (5 月 26 日) の解答例とコメント

課題 1 2 点以上含む距離空間  $X$  について  $U \neq X$  かつ  $U \neq \emptyset$  を満たすものがあることを示せ.

【解答例】  $x, y$  を  $X$  の異なる 2 点としその距離を  $r = d(x, y) > 0$  とおく.  $U = B_r(x)$  とおけば,  $U$  は開集合であり (例 2.29)  $x \in U$  を満たす. ゆえに  $U \neq \emptyset$  である. 一方  $d(x, y) = r$  より  $r \notin B_r(x) = U$  なので  $U \neq X$  である.

【コメント】

- やさしい問題だ. なお,  $B_r(x)$  が開集合であることを使ったが, その証明は与えていなかったようだ. 簡単なので考えてみてほし.
- この事実から 2 点以上の要素を持つ距離空間の位相は密着位相にはならない. 距離に由来しない位相空間の存在が分かる.

課題 2  $(A \cap B)^\circ \subset A^\circ \cap B^\circ$  を示せ.

【解答例】 内部の定義を使った証明

$x \in A^\circ \cap B^\circ$  とする.  $x \in A^\circ$  より  $x \in U \subset A$  となる開集合  $U$  が存在する. 同様に  $x \in V \subset B$  となる開集合  $V$  が存在する. よって  $x \in U \cap V \subset A \cap B$  であり  $U \cap V$  は開集合なので  $x$  は  $A \cap B$  の内点である.  $A^\circ \cap B^\circ \subset (A \cap B)^\circ$  が成り立つ.

逆に  $x \in (A \cap B)^\circ$  をとる.  $x \in (A \cap B)^\circ \subset A^\circ$ , 同様に  $x \in B^\circ$  より  $x \in A^\circ \cap B^\circ$  であり  $(A \cap B)^\circ \subset A^\circ \cap B^\circ$  である. 以上を合わせて  $(A \cap B)^\circ = A^\circ \cap B^\circ$  である.

【解答例】  $A^\circ$  とは  $A$  に含まれる最大の開集合であることを使った証明

$A^\circ, B^\circ$  はともに開集合なので  $A^\circ \cap B^\circ$  も開集合である. また  $A^\circ \subset A$  かつ  $B^\circ \subset B$  なので  $A^\circ \cap B^\circ \subset A \cap B$  である. よって  $A^\circ \cap B^\circ \subset (A \cap B)^\circ$  である.

一方  $(A \cap B)^\circ \subset A \cap B \subset A$  より  $(A \cap B)^\circ \subset A^\circ$  である. 同様に  $(A \cap B)^\circ \subset B^\circ$  も成り立つので  $(A \cap B)^\circ \subset A^\circ \cap B^\circ$  である. 以上を合わせて  $(A \cap B)^\circ = A^\circ \cap B^\circ$  である.

【コメント】

- 議論で  $B_r(x)$  のような記号を使った人が目についてが, これは距離空間での議論である. この問題では使ってはいけない.
- 一般に  $A \subset B$  ならば  $A^\circ \subset B^\circ$  である. この証明も簡単に行えるようになってほしい.